

みなさん、こんにちは。

今日は、業務紹介第4弾として、電気通信情報施設関係の業務内容を、水管理・国土保全局砂防計画課石井係長（入省5年目）より語ってもらいました！



石井係長（入省5年目）

1. 電気通信情報施設関係の業務の国交省における役割を教えてください。

国土交通省では、人々の暮らしを守り、社会の発展を支える河川・砂防・道路等の公共インフラの整備や、人々の命を守る防災・減災・災害復旧等の取り組みを行っています。電気通信分野では、公共インフラを安全・快適に使うための電気通信設備や、災害発生時に早く確実に被災状況を把握、情報共有するための情報通信システムの整備等を行っています。

2. 現在の目玉施策を教えてください。

土砂災害の復旧現場等では、二次災害を防止するため油圧ショベルなど建設機械の遠隔操作による無人化施工を実施している箇所があります。現在、第5世代移動通信システム（5G）の活用による無人化施工の高度化に向けた検討を行っています。

3. ご自身が担当されている業務内容について教えてください。

土砂災害の恐れや発生状況を早期に把握するための観測機器、情報通信システムの検討、整備や、土砂災害に関する防災教育等を行っています。



衛星通信端末を搭載した防災ヘリ（左）と、防災ヘリによる被災状況調査（右）



4. 苦労する点や、やりがいについて教えてください。

ひとたび災害が発生すると本省、地方整備局、関係機関等多くの関係者との調整に追われ、非常に忙しい日々が続き、大変なこともあります。被災地の早期復旧に貢献しているという大きなやりがいを感じることができます。また、災害対応の経験をすることで自分の業務がどのような役割を持っているのか実感することができ、日々の業務にもやりがいを持って取り組むことができます。

5. 国土交通省を目指す方へのメッセージをお願いします。

国土交通省では人々の生活の基盤となる公共インフラを作り、災害から人々を守るというスケールの大きな仕事に携わることができます。国土交通省の業務に興味を持っていただいた方は、是非、採用関係イベント等に参加してみてください。



国土交通省内にある防災センター